

第1回 小郡市庁舎建設審議会

— 議 事 錄 —

■日時：令和7年11月26日（水）10:00～

■場所：小郡市役所 西別館3階大会議室

■出席委員：前田真委員、鮎川透委員、森勝則委員、重松正喜委員、大石たえ子委員、
佐藤真紀子委員、村橋理恵委員、片根暢宏委員、島弥生委員

■欠席委員：守屋彩乃委員

■事務局：大中経営政策部長、牟田財政課新庁舎担当主幹、肥山新庁舎担当企画主査、
有富主任主事

議 事

新庁舎の基本方針について

■事務局

～資料に沿って説明～

■委員

・資料に「市役所機能の市内分布状況」があるが、北から南まで多く市役所機能が分かれている。新庁舎になると、この市役所機能を集約されることになるのか。

■事務局

・委員が言われるよう、市内各所に分布している状況である。現段階では、本庁舎部分についてはまとめることを考えているが、全ての市役所機能を集約するかどうかについては、現段階では決まっていない。ただし、この庁舎建設審議会の中で、集約していくべきという意見がまとまれば、検討していく必要があると考える。

■委員

・市役所機能はバラバラで、あちこちにまたがっているので、それを統一していかないといけない。

・市民が来庁するところは交通の便が優先されると思うので、駅の近くが良い。ただし、そうなってくると現庁舎で職員が執務をしながら新庁舎を建てないといけないから、どこに建てるべきかを考えていかないといけない。新庁舎を高層化して建てれば可能かもしれない。

・これから先は、市民サービスの観点からと言うと、ワンストップ窓口とか、DX関係な

どは強化していかないといけないので、そういったことを十分踏まえて、近隣などで新庁舎を建てているところを参考に、どういう視点で建てて、どういう課題を解決しながら庁舎を建てていったか、福岡県で言えば朝倉市、八女市、筑紫野市など、県を越えて鳥栖市などもある。そういったところを事務局でどういった視点を目標にして建てたのかということと、財政的な面でも以前から倍ぐらい建築費が上がっている点も考慮しながら、資金計画についても考えていきたい。むやみに庁舎は建てられないと思うんで、そういったことを参考にしながら、小都市としてどうあるべきかということを皆さんと一緒に探っていきたい。

■委員

・新庁舎を建てるとなると、なかなか土地がないので、とても厳しい状況になるのではと考える。市民サービスの観点、様々な観点から話し合いをしていかないといけない。

■委員

・現庁舎の課題、利用で困ってること、不便なことで言えば、階段が多いし、施設全体が暗く感じる。また、トイレの位置が分かりにくい。これから高齢社会になっていく上では、一番課題と感じる。

・あすてらすは、健康課、こども家庭支援課などが入っていて、子ども関係の部署が全部あすてらすに移転し、現在は、職員が工夫し、遊ぶフロアができたり、行きやすくなったり。学習したければそこの机を使っても可能だが、天井がとても高いため、明かりが届かない。少し前に、雨漏りがあって修繕などもとても大変だったと思う。やはり建てるなら、あまり格好だけを気にするのでは、お金がかかってしまって空間が無駄だったりすることがあるので、天井の高さは考えていただきたい。明かり取りっていうのは大事なことなんで、そういうのをよかつたらお願ひしたい。

・南別館と本館を移動する際は、道路を渡らないといけない。新庁舎を建てる際は、歩道橋などでつなぐなど、何かそういうのを考えていただきたい。駐車場がいろいろ点在していて無駄なことが多いので、そのあたりをお願いしたい。

・良い点では、あすてらすに子ども関係部署が1か所に集約されたことによって、お母さんたちがとても助かって健診もあちらに行ったりするので、そういう点ではあすてらすはどんどん良くなっていると感じる。

・場所は、利便性となると、土地も高いから大変だと思うが、本庁舎を残して、現敷地内に建てて南別館と通路を繋ぐか、そしてどこかに職員が移動して仮住まいされるか、または、新しい土地を見つけられるなら、そこに本庁舎を持っていけるようになるのではないか。

- ・あまりお金のかからないようにしてほしい。
- ・新庁舎ができたときに、市の職員ばかりではなくて、市民が利用できるフロアがあったらよいのではないか。普段は市の職員の方が使って、空いたところで市民が何かに利用てきて、子供たちが遊ぶところや高齢者の憩いの場所でもいいが、このフロアはスーパー、このフロアには何が入っている、なども良いと思う。

■委員

- ・市役所から離れている地区だと、市役所があまり身近に感じれないという部分もあるので、DXなどでいろいろ改善されていくと思うが、もう少し身近に感じられる場所にしてくれると良い。
- ・近隣の庁舎も多く建て替わっているということで、いいところをいっぱい取って、市民もだが職員も働きやすいような庁舎になったら良いと思う。

■委員

- ・子供たちや子育て世代の方たちは、現在あすてらすを多く利用していると思うが、新庁舎になったときに、どこまでの機能を新庁舎の中に入れていくのかを考える必要がある。
- ・市の施設はいろいろな場所に点在している状況だが、各々そこでの機能はすごくよくできていると思う。そこを一つにまとめるべきなのか、そうではなく、今あるところをしっかりと使っていくのかっていうのをしっかりと決めていかないと、新庁舎の中で、子育ての方たちにいっぱい来ていただき子供たちが遊べる場所を作ったものの、あすてらすが今まであるのならば、多分保護者は新庁舎に来る機会っていうのはすごく減っていくと思う。そういうったところも考えながら、どういった建物を建てていくかを検討していく必要がある。

■委員

- ・何か一つに特化したものと考えたときに、やはり防災が重要だと感じていて、ハザードマップを見たところ、今の場所は浸水しないエリアにはなってるが、これは自然のものなのでどういったことが起きるか分からないと考えると、資料の例にもあった、下のフロアが浸水しても多少大丈夫な建物とか、そういったことを考えていただきたい。防災は、基本的には自助、共助、最後は公助だが、市役所に何かあって機能しないというのが最悪だと思うので、そういうったところに特化していただけたらありがたい。

■委員

- ・立地については、アクセス云々ということとともに、工事中はどうなのがという問題を

考えていかなければならない。

・市役所を英語に訳すと、シティホールと訳したりするが、ヨーロッパでいうと、街の真ん中に教会があって、教会の前に広がってシティホールがあるっていうのが、街の真ん中である。シティホールが何なのかと考えたとき、例えば30年から40年ぐらいの中期で人口推計がどうなのかということも考慮する必要がある。福岡都市圏の場合は、小郡市ほど人口が減る見込みはない。むしろ例えば糸島市とか、南の方それから東の方は右肩微増の状態だと思う。そうあったときにその人口の読みと、それからそれに関わる職員の数などはどう関わってくるか。人口構成にもよってくる。

・それからもう一つは、小郡というこの場所を考えると、あんまり地域の特性を感じない。福岡から見ると、七夕と言われても、ぴんとこない。シティホールをまちのシンボルと考えるのか、あるいはそれは置いといて、便利に使えれば良いとするのか。シンボルというのは形だけではなく、活動もシンボルになるわけだから、そういう活動を支える場としてのシティホールという考え方もある。

・例えば、福岡市役所は天神にあって、前の市役所も同じ場所にあった。前の市役所は、中庭があって口の字に建っていて、ヨーロッパの建物を真似しているが、建て替えるときに、できた後のことと想定して、地下駐車場の上に広場を作った。あの天神のど真ん中にあんな広場を公園以外に確保しようと思ったら絶対できない。でも、あれはこれから先の都市の真ん中にこういう活動広場みたいのがいるんだろうという、それが向こうの中央公園と重なって、一体的なその繋がりを持つんだっていうのが設計者の提案だった。そこでは、クリスマスマーケットをやったり、県内のいろんな自治体のイベントの受け皿になっている。自分のまちの市役所がどういうものだったらしいかというのは、形態だけじゃなくて素材とか活動だとか、そういうものを今からイメージしていくことが大事なことではないか。

・事務局は、数、お金、広さなどはしっかりと考へると思うので、その中に入れるものを、あるいは皆さん方の活動としてどんなことができるかというふうに考へていけばよいと思う。

■委員

・市役所の機能から考へたが、先ほどの子育て関連部署の話もあり、できるだけ庁舎の中にまとめた方がいいと思う。あすてらすまで行かないといけないっていうことを聞いて思ったが、せっかく子育て支援センターができたが、福祉課もあるし、関連があるから、やはり庁舎内にまとめるというような形も考えたらよいと思う。土地が厳しいから高層で5階以上建てて確保すればよいと思うし、やはり公共施設は、できるだけまとめた方が市民には利便性が高いと思う。

■委員

- ・これから少子高齢化が進んでいくと人口構成がどうなるか、そうすると福祉行政どうするかという視点が重要であると思うし、未来を担う子供たちをどう育てるかという環境も大事だと考える。
- ・小郡は歴史的にそれぞれの校区の自治性が結構高く、縦のラインに三国があって小郡があって、味坂があってちょっと離れたところに御原があって立石があるが、離れているから新庁舎に対して思い入れがないかということではない。
- ・建物自体はそうだが、いろんな機能を持ち合わせていくと、日ごろの手続きは家にいてオンラインすればよい、住民票はコンビニで取れるということでいいが、時々集まる、いろいろ触れ合うことっていうのはすごく大事だろう。
- ・人口構成と、人口構成から分かる行政としての予算、負担、後はもちろん人口が減れば市役所の職員の数は減るので、減ることも考えて庁舎はどうあるべきかというところは大事だろうし、DXをやることで分散集約機能ということも睨みながらやっていくことが必要だろう。
- ・せめて30年後的小郡を想像しながら建物がどうあるべきか、30年後にそのハードウェアをある程度リニューアルをしてもそんなに予算がかからないというのは非常に大事であると思う。今建てている庁舎のところで検討されているのは、世界情勢、世間情勢で、例えば子ども〇〇課というのがあるが、これは福祉と一緒にになってやっていく必要があるという時代がもしかしたら来るかもしれない。そのときに部署引っ越しのために100万かかるでは困るので、そういうフロアがユニバーサルである必要性、先ほど豊島区のところであったが、どこでも執務できるなど、フリーアドレスまではやりすぎと思うが、企業は今全部フリーアドレスになっているという状況である。そこは、世間情勢、世界情勢は、このAIで世の中が劇的に変わるとと思う。インターネットで劇的に変わったぐらいの時代変革が起きてくる。行政の中にもAIの導入がもうマストになってきてる時代で、小郡市はまだあまり検討されていないと聞いているが、いろんな自治体がもう既に着手している。それで行政のEBPM含めて、行政政策のところも含めてやる世の中になってきているので、他自治体のいいとこ取りをして、うまいことやれたら良い。
- ・今日もいろんな市民目線、地域目線でご意見があったが、次回以降、事務局からセグメントした形での意見交換になってくると思うので、自由闊達に地域目線、市民目線で意見をいただければと思う。